

第 **82** 期

# 中間報告書

平成16年4月1日から  
平成16年9月30日まで



**西華産業株式會社**  
SEIKA CORPORATION

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の平成16年度中間報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、平成15年度後半より回復を持続し、原油価格の高騰等の懸念材料はあるものの、中国・アジア地区の需要増加等を背景に設備投資動向および企業業績に改善が見られ、景気は回復基調で推移しました。

このような状況下、当社は、投資抑制傾向が続く電力分野できめ細かい営業活動を推し進める一方、一般産業分野では、伸長の著しい中国・アジア地区での積極的な営業展開並びに国内の設備投資の回復傾向を受けて新規大口商談に取り組み、併せて既存設備の補修・更新等を中心とした営業展開を図ってまいりました。また電子情報分野では半導体・液晶関連機器に注力し、特徴ある製品の拡販を展開してまいりました。その結果、電力分野では受注が落ち込んだものの、一般産業分野では受注が大幅に伸びたため、当期の受注高は76,248百万円（前年同期比70.5%増）となりました。

なお、海外受注高はアジア地区の受注増加により9,546百万円となり、全体の受注高に占める割合が初めて10%を超え12.5%となりました。

部門別の受注高は、

- 1) 電力分野では、引続き投資抑制の影響を受けて、受注高は13,711百万円（前年同期比25.5%減）となりました。
- 2) 一般産業分野では、クリーンエネルギー、リサイクル関連の大口商談の受注およびアジア地区への輸出関連機器・商品等の受注商談の増加により大きく伸び、57,935百万円（前年同期比164.7%増）となりました。
- 3) 電子・情報分野では、設備投資に積極的なアジア地区向に販売を進めましたが、4,601百万円（前年同期比4.0%増）の微増にとどまりました。

一方、売上の面では電子・情報分野は前年同期並みの売上高を維持したものの、電力分野および一般産業分野が低調であったため、売上高は66,076百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

部門別の売上高は、

- 1) 電力分野では、大口案件の受渡しが少なかったため、20,811百万円（前年同期比16.6%減）となりました。
- 2) 一般産業分野では、既存設備の補修およびアジア地区への輸出関連案件の受渡しが伸びたものの、大口案件の受渡しが少なかったため、40,326百万円（前年同期比10.3%減）となりました。
- 3) 電子・情報分野では、情報通信関連機器の受渡しが進んだため4,938百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

なお、海外売上高はアジア地区への受渡しが進んだことにより、8,356百万円となり、全体の売上高に占める割合が初めて10%を超え12.6%となりました。

以上の結果、売上高は66,076百万円と前年同期比8,174百万円（11.0%）の減収となったものの、売上総利益が増加したこと並びに販売費および一般管理費が減少したことにより営業利益は686百万円と前年同期70百万円の営業損失から改善し、経常利益は752百万円と前年同期比597百万円（386.2%）の増加、中間純利益は479百万円と前年同期比399百万円（496.9%）の増加となりました。

当中間期の配当につきましては、諸般の事情を勘案し、前中間期同様見送りのこととさせていただきますので、ご了承くださるようお願い申し上げます。

今後の景気の見通しにつきましては、上半期のわが国経済は景気回復を持続してきたとはいえ、米国経済や中国を中心としたアジア経済の景気拡大傾向が鈍化するとの見方や、原油高や円高基調の為替相場など不安が残ることもありますので、わが国経済も依然予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような経営環境下、当社は、各分野での専門性を生かしながら、電力分野ではプラントの改修工事等へきめ細かな営業を更に推し進め、一般産業分野および電子・情報分野では海外拠点を活用し特徴ある製品・商品の拡販に取組むとともに、クリーンエネルギー関連やリサイクル関連商談に積極的に取組み受注の拡大を図る一方、販売費および一般管理費の圧縮に努めて収益力強化を図る所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年11月

取締役社長

藤本 寺 孝

# 中間貸借対照表 (平成16年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
(資産の部)	64,795	(負債の部)	48,734
流動資産	50,067	流動負債	45,901
現金及び預金	7,986	支払手形	5,330
受取手形	2,985	買掛金	28,094
売掛金	32,880	短期借入金	8,400
有価証券	1,106	未払法人税等	379
たな卸資産	1,520	前受金	2,311
前渡金	2,818	賞与引当金	338
繰延税金資産	154	その他	1,048
その他	625	固定負債	2,832
貸倒引当金	10	長期借入金	1,000
固定資産	14,728	退職給付引当金	1,700
有形固定資産	2,692	役員退職慰労引当金	126
無形固定資産	399	その他	5
投資その他の資産	11,635	(資本の部)	16,061
投資有価証券	9,814	資本金	6,728
その他	2,071	資本剰余金	2,096
貸倒引当金	249	資本準備金	2,096
		利益剰余金	5,887
		任意積立金	5,050
		別途積立金	5,050
		中間未処分利益	837
		その他有価証券評価差額金	1,364
		自己株式	15
資産合計	64,795	負債及び資本合計	64,795

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 2,738百万円  
 2. 受取手形割引高 16百万円

# 中間損益計算書 (平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売上高		66,076
売上原価	62,201	
販売費及び一般管理費	3,188	65,390
営業利益		686
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	
その他	95	171
営業外費用		
支払利息	44	
その他	60	105
経常利益		752
特別利益		209
特別損失		25
税引前中間純利益		936
法人税、住民税及び事業税	400	
法人税等調整額	57	457
中間純利益		479
前期繰越利益		357
中間未処分利益		837

## 役員

(平成16年9月30日現在)

代表取締役社長	藤	本	守	孝
代表取締役副社長	近	藤	一	義
専務取締役	森			昭
常務取締役	兵	頭	富	雄
取締役	副	島	照	史
取締役	姫	野	甯	尋
取締役	引	間	昌	雄
取締役	片	山		茂
取締役	清	水		潔
常勤監査役	高	橋	和	昭
常勤監査役	上	村	五	男
監査役 (社外監査役)	新	保	昌	信

# 当社の概況

設 立 年 月 日 昭和22年10月 1 日

資 本 金 6,728,128,957円(平成16年 9 月30日現在)

発行済株式の総数 85,103,252株( 同 上 )

事 業 所

## 国 内

本 社：東京都千代田区丸の内三丁目 3 番 1 号

支 社：大阪市北区堂島浜一丁目 4 番 4 号

支店及び営業所：札幌、室蘭、横浜、名古屋、水島、福山、  
広島、徳山、山口、高松、福岡、北九州、  
長崎、大分、延岡

## 海 外

支 店：台北、ソウル

駐在員事務所：上海

現地法人：SEIKA SANGYO GmbH(デュッセルドルフ)

TSURUMI (EUROPE) GmbH(デュッセルドルフ)

SEIKA MACHINERY, INC.(ロサンゼルス)

西華貿易(深圳)有限公司

西嘩貿易(上海)有限公司

## 株 主 メ モ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月中
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所（市場第一部）
配当金の受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所 (郵便物送付先) (電話照会先)	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 Tel 0120-70-7696 (フリーダイヤル)
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 なお、当社は第80期より決算公告に代 えて貸借対照表並びに損益計算書を当 社ホームページ（下記アドレスご参照） に掲載しております。 <a href="http://www.seika.com/ir/kk/index.html">http://www.seika.com/ir/kk/index.html</a>
1 単 元 の 株 式 数	1,000株

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求  
に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求  
は、名義書換代理人の0120-86-4490(フリーダイヤル)で24  
時間承っておりますので、ご利用ください。